

マンガに描かれる保育者イメージに関する研究

A Study on the Image of Early Childhood Education and Care teachers in Manga

加藤 望* ・ 上田 敏丈**

愛知みずほ短期大学*

名古屋市立大学**

Nozomi KATO and Harutomo UEDA
Aichi Mizuho Junior College*
Nagoya City University**

Abstract

In Japan, manga is one of cultures, mass communication media for young. Manga means comics story, not animated. Also, there are cartoons of nursery, and the Early Childhood Education and Care (ECEC) teachers depicted there tells the reader the image within these manga. The purpose of this research is to examine the ECEC teacher is drawn how character in the manga. As a specific method of analysis, we use visual contents analysis (Rose, 2016).

As a result, the following three points were clarified 1) The place of the story is minority childcare. In Japan, nursery schools where the system is approved for the country are major, however drawn as a stage minor nursery schools in manga. 2) It is underestimated to qualifications and licenses concerning nursery care. ECEC teachers are qualified professionals but are depicted as unqualified persons. 3) It is not child-based stories. Childcare is a child's main activity, but in manga the adult is the subject and the story progresses.

We considered them it is thought that it is necessary to actively disseminate real childcare sites to society by visualizing the real palp of nursing care and interest, and the expertise of day care centers. More than task is to focus on the nonfiction manga, and that depicts the actual experience of the childcare professional as a model and analyze.

キーワード：保育者，保育者の専門性，イメージ，マンガ

Key Word：ECEC teachers, childcare professional, image, manga

1. 問題と目的

日本においてマンガは青少年文化の一種として定着しており、雑誌やインターネットと同様のマスコミュニケーションメディアである。2017年4月～6月までに印刷された少年向けコミック誌の印刷部数は4,840,506冊に上り（日本雑誌協会, 2017）、マンガは現代日本文化のひとつである。そして、現代あるいはこ

れからを生きる子どもたちにとって、マンガは生活や文化とは切っても切り離せない情報伝達的手段でもある（細萱, 1993）。

マンガを含めたマスコミュニケーションメディアが、何を伝えているのかという研究は、これまでも内容分析の手法を用いて、多くの媒体やテーマで分析されてきた。例えばテレビニュースにおけるジェンダーを対象としたもの（小林, 2017）やファッション雑誌を対

象としたもの(辻,2017)から、SNSを対象としたもの(井田他,2016)まで多岐に渡っている。一方、マンガというメディアを対象とした内容分析は多くはない。なぜなら、マンガは絵と文章とで情報を伝えるものであるがゆえに、そのテキストだけではなく、ヴィジュアルも分析する必要のあることが課題だからである。しかし青少年にとっては、マンガは身近で重要なメディアのひとつであり、彼らに対しての影響力は大きいことが予想される。

マンガを対象とした研究は少ないが、例えば山田(2004,2017)が、マンガに描かれた教師像に着目した研究を行っている。山田(2004)は、重要な青少年文化であるマンガには「子どもの持つ教師像が明確に表現されて」おり、それを再構成することで、従来の教師像を解体し、異なる教師像の提示を行っている。

山田(2004)も述べるように、商業誌であるマンガには、読者である青少年の反応によって、連載期間や内容に影響が与えられるために、読み手が期待しているだろう意図を持って描かれていると仮定できる。このように考えるならば、教師像に限らずその他の職業のイメージについても、読者が想定するある種のイメージをもって描かれているのではないだろうか。

このようなマンガ文化の中で、日常的な生活が描かれているマンガには、主人公が保育士・幼稚園教諭等の保育者として活躍するものがある(以下、幼稚園教諭や保育士等、保育に従事する職業を総称する場合、保育者と表記する)。藤田(2017)も指摘しているように、読み手はマンガの中に描かれている事象を自らの経験に照らし合わせて解釈する。例えば教師を題材としたマンガを読む際、読み手も児童・生徒として学校教育現場や教師と関わってきた記憶と照らし合わせてマンガを読むため、フィクションとノンフィクションの区別は明確であろう。

だが、小学校や中学校、高等学校の授業や部活動で関わりのある教師像とは異なり、幼児期にしか関わらない保育者との記憶を詳細かつ鮮明に覚えている読み

手は少ないのではないだろうか。つまり保育者に対する読者のイメージは、学童期以後の教師像に比べて曖昧な部分が多く、マンガを読むことで間接的に再構成されると考えられる。この場合、直接体験している読み手よりも体験したことのない読み手の方がマンガによるイメージの影響を受けやすい(浅岡,2012)という。よって、読者がマンガに描かれているイメージを保育職及び保育者の専門性そのものとして受け取る可能性は否定できない。

保育者は医師や教師と同じく、資格・免許が必要な専門職である。しかし、保育を学ぶ学生に保育職のイメージについて尋ねた研究(野津,2012)の結果でも、保育職は「大変そう」「収入が少ない」「忙しそう」「病気になるそう」「体力勝負」「責任重大」といったネガティブなイメージを1年次に抱いている。同じく保育を学ぶ学生に保育職のキャリアイメージを尋ねた研究の結果でも(林,2014)、学生たちは保育職に対して「給料がよい」ことや「社会的評価の高い仕事」であることを期待していなかった。

このように、保育者は専門職であるにも関わらず、社会一般や保育者志望の学生からも、ネガティブなイメージで捉えられている。こういった保育者イメージは、マンガというメディアの中でどのようなイメージで描かれているのだろうか。

そこで、本研究では青少年が触れる頻度の高いマンガに着目した上で、マンガの中に描かれる保育者がどのような保育者像として描かれているのかを検討する。

2. 方法

分析対象としたマンガは、2017年3月現在、コミックとして入手可能なマンガで、主人公の職業(非正規雇用及び副業含む)が保育者(園長及び無資格保育従事者含む)のマンガのうち、4コママンガとノンフィクションマンガを省いた7タイトル、合計33冊である(表1参照)。

表1 分析対象マンガ

マンガタイトル	舞台となる園の形態	作者	第1巻出版年	最終巻出版年	巻数	連載雑誌	出版社	推定対象読者性別
あいこでしょ!	幼稚園	大井昌和	2000	2005(2007)	全7巻(全4巻)	電撃コミックガオ!	幻冬舎	男性
カンタマン	認可保育所	萩岩睦美	2002	2002	全2巻	クイーンズコミックス	集英社	女性
アカシヤの星	幼稚園	たくまる圭	2004	2005	全3巻	IKKI	小学館	男性
赤ちゃんのホスト	認可外保育所	丘上あい	2013	2016	全9巻	BE・LOVE	講談社	女性
ホイクメン!	認可外保育所	上田倫子	2014	2014	全1巻	マーガレットコミックス	集英社	女性
37.5°Cの涙	派遣型病児保育	椎名チカ	2014	2016	現8巻	フラワーコミックス	小学館	女性
ほいくの王さま	認可外保育所	落合さより	2016	2017	全6巻	モーニング	講談社	男性

(2017年3月現在)

保育者に対する職業イメージを明らかにするという研究目的から、マンガのストーリー性が高いことを重視し、実話ではなく創作した話を対象とするために、4 コママンガとノンフィクションマンガは分析の対象外とした。また本研究では、主人公が保育職に従事していることに分析対象を限定した。これは、マンガのストーリー展開に大きな影響なく、登場場面が少ないものを網羅的に検討することができなかつたためである。

分析方法については、保育マンガに描かれた保育者を対象としてその内容分析を行った (Rose, 2016)。具体的な方法として、まず、①マンガの中で保育を行う保育者が描かれている場面を選定した。次に、②選ばれた場面を読み返しながらか、「保育者」「台詞」「キーワード」「場面説明」について、マンガのコマに描かれている情報を整理した。「保育者」欄には登場人物名、「台詞」欄にはそのコマにある台詞、「キーワード」は、描画から得られるイメージを含めた言葉、「説明」にはストーリーの背景にある保育事情等を入力し、コミック毎にシートを分けて作表を行った。③それらの情報を土台として、研究者間で、マンガに描かれている保育者像を検討した。なお、同じようにマンガの分析をした先行研究 (平林・山内, 2011) では、台詞のみに着目しているのと異なり、本研究では描画イメージも分析の対象とした。

3. 結果

1) ストーリーの舞台はマイノリティー保育

本研究で分析対象とした保育マンガは、派遣型病児保育事業も認可外保育所を含めると、7 タイトル中、過半数の 4 タイトルが認可外保育所を舞台としている (表 1 参照)。日本における就学前施設の数としては、幼稚園が 10,474 園 (文部科学省, 2018)、認可保育所が 23,410 施設 (厚生労働省, 2017) であり、認可外保育所は 6,558 施設 (厚生労働省, 2018) である。

当然のことであるが、日本の社会における保育施設では認可保育園が中心であり、認可外保育所は就学前施設の中でも少数である。しかしながら本論文で取り上げたマンガのうち、4 タイトルが認可外保育所であったのは、認知度の高い認可保育所よりも、珍しい施設の方がマンガの舞台としては相応しいと考えられているのであろう。

また、マンガに登場する保育者の性別については、男女の割合がほぼ同じである (表 2 参照) のに対して、現実の日本社会においては幼稚園教諭総数 95,592 人の内、男性教諭は 6,251 人 (文部科学省, 2018) であり、また、保育士については、保育士登録者数では総数約 119 万人のうちの 4% の約 5 万人が男性である (厚生

労働省, 2015)。それにも関わらず、本論文で取り上げたマンガでは男性の保育者が多い。これは、本論文で取り上げたマンガの掲載媒体が女性読者を想定したものが多くことから、主人公を男性としていることが考えられる。

以上のことから、保育マンガに表現される舞台の特徴としては、日本社会全体をみても数の少ない認可外保育所や男性の保育者を対象としていることが明らかになった。このように、現実社会では少数派の事柄を取り上げる理由には、以下の二点としてまとめられる。第一に、フィクションマンガとしてドラマ性のあるストーリーをつくりやすいことがあげられよう。認可保育施設ではなく、あえて認可外の保育施設を対象とすることで、経営や運営のハードルを作りやすく、物語としての山場がつくりやすいと考えられる。

第二に、希少性により新奇性があることである。社会的に認知度の低い保育施設や少数派である男性の保育者を取り上げることで、読み手の注目を引きやすいためだと考えられる。

2) 保育に関する資格・免許への過小評価

マンガに描かれる保育者の二つめの特徴は、無資格・無免許として描かれていることである。

例えば、『あいこでしょ!』『アカシヤの星』『ホイクメン!』『赤ちゃんのホスト』の主人公は、無資格・無免許の保育者 (園長含む) である (一部は、ストーリー終盤で資格・免許を取得する)。分析対象のマンガ 7 タイトル中、ストーリーに頻出する保育者 (園長含む) について分析すると (表 2 参照)、無資格・無免許の保育者は 9 名である (他、不明者 2 名)。現実社会においても、保育所においてはその施設形態によって、保育士資格を有しない者も保育従事者として勤務することは可能である。但し、幼稚園に関しては幼稚園教諭免許を所持していなければ、教員として勤務することはできない。なぜ、保育者という専門職を題材としたマンガにも関わらず、保育に従事している登場人物が無資格・無免許として描かれるのだろうか。

野呂 (2009) は世間一般人のイメージによる職業格付けを調べた研究の中で、幼稚園教諭の職業階層は、同じ教職である高校教諭、中学教諭、小学校教諭よりも低いことや、保育所保育士の職業階層はさらに低いことを明らかにしている。世間一般的に保育職は職業階層が低いと捉えられており、これらのイメージがマンガにも反映され、高度な専門的知識を必要としないイメージで描かれているといえよう。

加えて、保育職は現実社会において、低賃金労働の専門職であると認識されており (亀山他, 2009)、そのような描かれ方はマンガの中にも表現されている (図 1『ほいくのおうさま 5 巻 43 話参照』参照)。



図1 『ほいくの王さま』5巻43話



図2 『37.5°Cの涙』6巻

更に、保育士資格を有している保育者であっても、育児未経験者や年齢の若い保育士に関しては専門性が低く、時にその専門性は無資格の育児経験者にも劣るかのよう社会から受け取られているといった場面も描かれている(図2『37.5°Cの涙』6巻20話参照)。図2にあるように、保育=子育ての構図が成立しており、そのようなバイアスが、マンガの中に再構成されているのである。

表2 登場人物詳細

マンガタイトル	保育者氏名	性別	資格	最終学歴
37.5°Cの涙	杉崎桃子	女	保育士資格	保育専門学校
37.5°Cの涙	恵	女	保育士資格	—
赤ちゃんのホスト	金田太郎	男	無資格 (最終話にて資格取得)	高校
赤ちゃんのホスト	新名楓	女	保育士資格	保育専門学校(4年)
赤ちゃんのホスト	次郎	男	看護師免許	看護学校
赤ちゃんのホスト	岩倉智春	女	保育士資格	保育専門学校
赤ちゃんのホスト	清水	女	無資格	大学
ほいくの王さま	福田育	男	保育士資格	大学
ほいくの王さま	吉川桜介	男	無資格	大学
ほいくの王さま	藤絵利央	男	無資格	高校
ほいくの王さま	東郷潮	男	保育士資格	大学
ほいくの王さま	及川有人	男	保育士資格	音楽大学から保育系学校へ編入学
ほいくの王さま	大鳥教一郎	男	無資格	—
アカシヤの星	陸星	男	無資格・無免許	—
アカシヤの星	楊楊	女	—	—
ホイクメン!	星野士郎	男	無資格	国立大学
ホイクメン!	松田	男	保育士資格	—
たんぽぽ保育園カンタマン	吉野梨香子	女	保育士資格	短期大学
たんぽぽ保育園カンタマン	北条幹太	男	保育士資格	保育短大
あいこでしょ!	花鳥水明	男	無免許 (最終話にて免許取得)	浪人生 (のち大学合格)
あいこでしょ!	神楽坂	女	幼免1種	—
あいこでしょ!	如月	女	—	—
あいこでしょ!	フミ	女	幼免2種	—
あいこでしょ!	ハル	女	無資格・無免許	短大(教養科)卒 通信課程受講中
合計	男性保育者	13	保育士資格 看護師免許取得者	10
	女性保育者	11	幼稚園教員免許取得者	2
	総数	24	無免許・無資格者	9
			不明	2

※マンガ中に記載がなく、不明な項目に関してはハイフン(—)とした。

※最終話にて資格・免許を取得した者も無資格・無免許者を含む

※太字は主人公(ストーリーを牽引する人物)

※最終学歴については、ストーリー内記載の言葉をそのまま使用している。

しかし幼稚園教育要領（文部科学省，2017）では、教師の役割は「幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方・考え方を生かし、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする」とある。保育者の専門性は、子どもが自ら活動したいと思える環境を意図して作り出すことであるが、マンガにはこのような場面は十分に描かれていない。

保育者が子どもの遊びを展開させるために教材準備や環境構成を行ったり（図7『たんぼぼ保育園カンタマン』2巻参照）、子ども同士のいざこざを見守り、協同的な学びを励ましたりする場面（『ほいくの王さま』1巻3話）（図8）は少なく、本研究で対象とした保育マンガにおいては、わずか2場面のみであった。いずれの場面においても、このような保育行為は、熟達者が行う保育、理想的で憧れの保育として描かれていた。

以上のことからマンガにおいては、子どもの遊びを中心とした保育活動はほとんど描かれておらず、「子ども不在」の保育であり、保育者の高い専門性が発揮される場面は過少である。



図7 『カンタマン』1巻より



図8 『ほいくの王さま』1巻3話

4. 総合考察

本研究では、マンガを対象として、どのような保育者像が描かれているのか内容分析を行った。その結果、①ドラマ性を際立たせるために、認可外の保育施設が舞台となっているものが多いこと、②中心となる保育者は無免許・無資格であることが多いこと、③マンガの中では「子ども不在」の保育が展開されていること、という3つが明らかになった。これらを踏まえて、マンガに描かれている保育者イメージには次のことが言えるだろう。

1) 「なりたい」動機を高める保育者像

本研究で対象としたマンガには、無免許・無資格の保育者が子どもの愛おしさや可愛らしさを原動力として、免許・資格の取得を志すといった保育者像が数多く描かれていた。このように子どものかわいらしさを原動力とした免許・資格取得の動機は、保育者養成校に入学してくる学生のほとんどが持っているものでもあり（浅井，2018）、保育者に「なりたい」動機として、多くの読み手に共感されるものであろう。

また、逆に「なりたい」動機の高い保育者像が描かれることにより、保育という仕事を目指す過程に対して魅力的なイメージを形成している。

2) 「ありたい」専門性の高さが描かれない保育者像

しかし一方で、子ども主体の保育活動や、子どもの遊びを展開していく保育専門性の高さは十分に描かれていない。つまり、マンガの中に描かれている保育者像では、保育者を志す過程や初任者が奮闘するといったイメージは容易に表現されるが、専門性の高さやベテランとしての保育者像には欠けている。保育職の離職率は全体で10.3%であり、全職種の労働女性の平均年齢が40.6歳なのに対して、保育士は35.1歳、幼稚園教諭は32.1歳である（厚生労働省 2015）。このことから、保育職は社会全体の職業と比較しても、熟達した保育者の総数が初任者に比較して少ないことがわかる。従って、保育者としての熟達したイメージが抱きにくいのではないだろうか。

3) 「子ども不在」の保育から「子ども中心」の保育へ

フィクションとして描かれるマンガでは、ストーリーにドラマ性が求められる。それ故、保育職という子どもが大きく関与する職業について描かれているマンガであっても、子どもを中心としたストーリー展開が難しく、大人が主体のストーリー展開となりやすい。このことがマンガ全体を通しての「子ども不在」保育に繋がり、保育者と子どもとの関わりが十分に描かれず、保育職としての専門性の高さが描かれないことへも繋がっている。

ただし、丁寧な取材に基づいて描かれているマンガ、作者自身が保育者養成課程を修了している場合や保護

者として保育者と関わった経験から生まれたマンガもある。こういったマンガの中には、個性豊かな子どもの姿、子どもと関わる保育者の高度な専門性が描かれている。つまり、高い専門性に基づくポジティブな保育職のイメージを広げていくためには、現実の保育現場が社会に対して保育の醍醐味やおもしろさ、保育者の高度な専門性を可視化する等して、積極的に発信していく必要があると考えられる。

なお本研究では、保育者が主人公のマンガのみを対象として分析しており、青少年に全てのマンガに登場する保育者がこの点は本研究の限界である。

今後は、さらに幅広く保育者が描かれているマンガを対象として分析を広げていくこと、ノンフィクションマンガにも着目していくことで、マンガに描かれている保育者イメージを精緻に分析することが課題である。

5. 引用文献

- 浅井拓久也 2018 「入学時の志望動機が保育士というキャリア選択に及ぼす影響」『埼玉東萌短期大学研究紀要』第16号 57-64.
- 藤田由美子 2017 「大学生はいかにスポーツマンガを読むのか—攪乱的ジェンダー表象をめぐる解釈的インタビューの分析—」『福岡大学人文論叢』第49巻、第1号、275-306.
- 林富公子 2014 「学生が考えるキャリアイメージ1—保育者養成校における学年間の比較を中心に—」『園田学園女子大学論文集』第48巻、p. 215-229
- 平林久枝・山内淳子 2011 「漫画『うちの3姉妹』に描かれる子どもの姿：「子育て支援」の視点からの考察」『山梨学院短期大学研究紀要』第31巻、114-125.
- 細萱敦 1993 「“漫画”情報と“漫画”美術館」『情報管理』第36巻、8号 683-690.
- 萩岩睦美 2002 『たんぼぼ保育園カンタマン』1巻 集英社
- 萩岩睦美 2002 『たんぼぼ保育園カンタマン』2巻 集英社
- 井田歩美・井下光 2016 「ソーシャルメディアにおける発言の内容分析に基づく4歳児を持つ母親の育児情報ニーズの可視化」『ヒューマンケア研究会学術集会プログラム/抄録集8』20.
- 亀山幸吉・佐藤純子・細井香 2009 「保育・介護労働の現状と課題」『淑徳短期大学研究紀要48』1-20.
- 小林直美 2017 「ロンドンオリンピックにおける選手のジェンダー表象：テレビニュース内容分析」『山形大学紀要48(1)』19-48.
- 厚生労働省 2013 『保育を支える保育士確保に向けた総合的取り組み』
(<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11907000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Hoikuka/0000026218.pdf>) (情報取得日：2019年2月19日)
- 厚生労働省 2015 『第1回保育士等確保対策検討会資料 保育士等における現状』
(<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11901000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Soumuka/4.pdf>) (情報取得日：2019年2月19日)
- 厚生労働省 2017 『保育士等関連状況とりまとめ』
(<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11907000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Hoikuka/0000176121.pdf>) (情報取得日：2019年2月19日)
- 厚生労働省 2017 『保育所保育指針』厚生労働省
- 厚生労働省 2018 『平成28年度認可外保育施設の現況とりまとめ』
(<https://www.mhlw.go.jp/content/11907000/1807190001.pdf>) (情報取得日：2019年2月19日)
- 文部科学省 2017 『幼稚園教育要領』第1章総則 建帛社2.
- 文部科学省 2018 『平成30年度学校基本調査』
(http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afildfile/2018/12/25/1407449_2.pdf) (情報取得日：2019年2月19日)
- 西上晴雄 2005 「マンガ・アニメ構造論」『宝塚造形芸術大学紀要』第18巻、1-21.
- 野呂育未 2009 『幼稚園教諭の社会的地位に関する一考察』関西学院大学教育学論究 創刊号 181-190.
- 野津直樹 2012 「本学学生が持つ「保育者のイメージ」の変遷についての研究」『小田原短期大学研究紀要』第42巻、59-70.
- 落合さより 2016 『ほいくの王さま』1巻 講談社
- 落合さより 2016 『ほいくの王さま』2巻 講談社
- 落合さより 2016 『ほいくの王さま』3巻 講談社
- 落合さより 2016 『ほいくの王さま』4巻 講談社
- 落合さより 2016 『ほいくの王さま』5巻 講談社
- 落合さより 2017 『ほいくの王さま』6巻 講談社
- 丘上あい 2013 『赤ちゃんのホスト』1巻 講談社
- 丘上あい 2014 『赤ちゃんのホスト』2巻 講談社
- 丘上あい 2014 『赤ちゃんのホスト』3巻 講談社
- 丘上あい 2015 『赤ちゃんのホスト』4巻 講談社
- 丘上あい 2015 『赤ちゃんのホスト』5巻 講談社
- 丘上あい 2016 『赤ちゃんのホスト』6巻 講談社
- 丘上あい 2016 『赤ちゃんのホスト』7巻 講談社
- 丘上あい 2016 『赤ちゃんのホスト』8巻 講談社
- 大井昌和 2007 『ひまわり幼稚園物語あいこでしょ!』1巻 幻冬舎コミックス

原著

大井昌和 2007 『ひまわり幼稚園物語あいこでし
よ!』 2巻 幻冬舎コミックス

大井昌和 2007 『ひまわり幼稚園物語あいこでし
よ!』 3巻 幻冬舎コミックス

大井昌和 2007 『ひまわり幼稚園物語あいこでし
よ!』 4巻 幻冬舎コミックス

Rose, Gillian 2016 *Visual methodologies* 4th editon, SAGE
85-105.

斎藤環 2011 『キャラクター精神分析—マンガ・文
学・日本人』 筑摩書房、85-91.

椎名チカ 2014 『3 7. 5℃の涙』 1巻 小学館

椎名チカ 2014 『3 7. 5℃の涙』 2巻 小学館

椎名チカ 2014 『3 7. 5℃の涙』 3巻 小学館

椎名チカ 2015 『3 7. 5℃の涙』 4巻 小学館

椎名チカ 2015 『3 7. 5℃の涙』 5巻 小学館

椎名チカ 2016 『3 7. 5℃の涙』 6巻 小学館

椎名チカ 2017 『3 7. 5℃の涙』 7巻 小学館

椎名チカ 2017 『3 7. 5℃の涙』 8巻 小学館

たくまる圭 2004 『アカシヤの星』 1巻 小学館

たくまる圭 2005 『アカシヤの星』 2巻 小学館

たくまる圭 2005 『アカシヤの星』 3巻 小学館

辻泉 2017 「変わりゆく『男らしさ』: 日独男性ファ
ッション誌の内容分析から」『ソシオロジスト武蔵
社会学論集 19 (1)』 43-67.

上田倫子 2014 『ホイクメン!』 集英社